

2015-B					
拠出金・基金の 名称		ユネスコ事業等拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国連教育科学文化機関(UNESCO)					
【所管官庁担当局課・室名】文部科学省国際統括官付					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念の実現に向け、我が国が国際社会において主導的役割を果たすために、ユネスコへの拠出金を通じて、加盟国に対する教育及び科学分野における協力事業を実施する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 円)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	274,380	476	222,000	1米ドル= 110円	11
平成26年度	275,779	476	229,590	1米ドル= 97円	12
平成25年度	296,317	476	257,270	1米ドル= 82円	13
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ユネスコは、教育、科学、文化、情報コミュニケーションの分野を通じて、国際社会の平和と安全に貢献することを目的とし、「人の心に平和の砦を築く」という精神に共感して我が国が戦後最初に加盟した国連機関。その重要性を高く評価し、政府としても積極的に参加・協力してきた。松浦前事務局長(1999年～2009年)の下でユネスコの諸改革が行われ、ボコバ事務局長も改革路線を継承している。また、我が国は1952年以降、連続してユネスコ執行委員会の委員国を務め、ユネスコの政策に意見を反映させるよう努めている。 ユネスコへの信託基金の拠出を通じて、世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念に貢献することで、日本が国際社会において主導的役割を果たすことを目指すものである。また、ユネスコは現在、米国の拠出停止により非常に厳しい財政難に直面しており、引き続き信託基金を着実に拠出するとともに、より効果的・効率的な信託基金事業の実施を図り、我が国としての貢献及びプレゼンスを示す必要がある。					